

## <2017 年度事業報告>

### I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2017年度（2017年3月1日～2018年2月28日）は下記を実施した。

#### (1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第4条1号）

時 期	名 称	内 容	場 所	参加者数	演題数
2017/4/19	特別講演会	「エアラインが航空機エンジンに期待する運航品質と整備コスト」	川崎重工業(株)東京本社ビル	65名	1
2017/4/23	第1回ガスタービン市民フォーラム	「ジェットエンジンのお話」	(国研)宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター	90名	1
2017/6/9	第1回見学会	設備見学および技術懇談会	東北電力(株)新仙台火力発電所、女川原子力発電所	40名	—
2017/7/6-7	第29回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育（講義および施設見学）	(国研)宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター	83名	7
2017/8/30	第3回日本ガスタービン学会女性参画推進イベント	個性が輝く職場についての意見交換および交流	首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス	32名	—
2017/9/8	第1回若手技術者交流会	ガスタービン専門分野の講義と技術者同士の交流	(株)IHI 本社	35名	3
2017/10/17	第2回ガスタービン市民フォーラム	「ガスタービンのお話-空を飛ぶ、電気をつくる、機械を動かす-」	愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール	136名	1
2017/10/18-19	第45回日本ガスタービン学会 定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表、定期講演会講演論文集発行(180部)	松山市総合コミュニティセンター	194名	64
2017/11/10	第2回見学会	設備見学および技術懇談会	JFEスチール(株)東日本製鉄所千葉地区	17名	—
2018/1/18	第4回日本ガスタービン学会女性参画推進イベント	開発の現場で活躍する女性との交流会	三菱重工航空エンジン(株)、MRJミュージアム	28名	—
2018/1/25-26	第46回ガスタービンセミナー	「ガスタービンおよびエネルギー関連技術の最新動向」、セミナー資料集発行(150部)	首都大学東京 南大沢キャンパス	111名	11
2018/2/2	第2回若手技術者交流会	ガスタービン専門分野の講義と技術者同士の交流	大阪大学中之島センター	20名	2

#### (2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第4条2号）

図 書 名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2017/3/17, 5/19, 7/20, 9/20, 11/20, 2018/1/19	2, 330
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2017/6, 10	Web 掲載

(3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第4条3号）

2017年度に継続して共催・協賛した行事は39件であり、新規のものは下記の1件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2017/11/17	第1回機械材料・材料加工部門 若手ポスターシンポジウム	早稲田大学 西早稲田 キャンパス 63号館 1F	日本機械学会

また、ASME/IGTI が開催する Turbo Expo 2017 の展示会に事務局職員を派遣するとともに学会のブースを開設して、情報発信および関連機関との交流を行った。

日本学術会議協力学術研究団体および公益社団法人日本工学会構成団体として学協会共通の諸課題について情報交換を行なった。

(4) ガスタービン及びエネルギー関連技術に関する研究、調査（定款第4条4号）

名 称	実 施 期 間	調 査 内 容
「国産ガスタービン・過給機生産統計（2019年版）」の資料収集	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産に関する資料を収集し、纏めると共に、結果を学会誌に掲載した。
ガスタービンを考える会の開催	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略について調査検討し、学会版技術ロードマップの改訂、プロジェクト案の策定、実現方策・体制案の検討などを行った。
ガスタービン研究開発プロジェクトに関する調査研究	2014年度から継続して実施	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）で採択されたプロジェクトの実施報告をまとめ、学会誌および定期講演会で活動を紹介した。また、今年度のNEDOプロジェクト公募への提案をまとめた。
産官学連携に関する調査研究	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携やプロジェクト実現の方策を検討した。また、地方企業との懇談会を実施し、有効な産官学連携のスキームを検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条5号）

ガスタービン及びエネルギー関連技術に関連した研究及び技術開発を奨励するため、2年に一度、優れた研究、技術に対して、日本ガスタービン学会賞（論文賞、技術賞、奨励賞）を授与している。2017年度は、学会賞審査の年度にあたるため、学会賞審査委員会において、学会賞の審査を行なった。その結果、論文賞2件を選出した。2017年度通常総会において学会賞の授与を行う。若手人材育成のため、第45回日本ガスタービン学会定期講演会において優れた研究発表を行った学生（2名）を表彰（日本ガスタービン学会学生優秀講演賞）した。第45回日本ガスタービン学会定期講演会において講演発表する学生の交通費の一部助成（17名）を実施した。

名 称	受賞内容 ・ 受賞者
2017年度日本ガスタービン学会賞 [論文賞]	「Verification and Application of Fluid-Structure interaction and a Modal Identification Technique to Cascade Flutter Simulations」 Atsushi Tateishi, Toshinori Watanabe, Takehiro Himeno, Mizuho Aotsuka, and Takeshi Murooka (JGPP Vol.8, No.3, 2016年12月)
	「A Study on Unsteady Flow Phenomena at Near-Stall in a Multi-Stage Axial Flow Compressor by Large-Scale DES with K Computer」 Kazutoyo Yamada, Masato Furukawa, Satoshi Nakakido, Yuki Tamura, Akinori Matsuoka and Kentaro Nakayama (JGPP Vol.9, No.1, 2017年2月)

2017 年度日本ガスタービン学生優秀講演賞	村田 遼 (東京大学大学院) 「噴霧流れ中の圧縮機翼面周りの液挙動に関する研究-翼面の濡れ性の影響-」
	中西 仁 (東京工業大学工学院) 「逆熱伝導解析による翼型熱交換器の伝熱性能評価」

(6) その他本学会の目的を達するために必要な事業 (定款第 4 条 7 号)

ガスタービン及びエネルギー関連技術普及の一環として、テキスト「ガスタービン工学」の改訂版を発行した。また、ホームページでの学会刊行物閲覧システムの構築をすすめ、Facebook による情報発信を開始した。

## II. 運営組織の概要

### 1. 役員・会員・職員

#### (1) 役員 (理事、監事)

2018 年 2 月 28 日現在

役名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所属
会長 代表理事	船崎 健一	非常勤	2016/4/15	なし	業務の総括	岩手大学
副会長 代表理事	油谷 好浩	非常勤	2017/4/19	なし	業務の総括	東芝エネルギーシステムズ(株)
代表執行理事	今成 邦之	非常勤	2016/4/15	なし	法人管理 総務	(株) I H I
執行理事	太田 有	非常勤	2016/4/15	なし	法人管理 企画 (兼務) 公 1 (3) 表彰・助成	早稲田大学
執行理事	渋川 直紀	非常勤	2016/4/15	なし	法人管理 財務	(株) 東芝
執行理事	福泉 靖史	非常勤	2017/4/19	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	三菱重工業(株)
執行理事	渡辺 紀徳	非常勤	2016/4/15	なし	法人管理 国際関係 公 1 (1) 国際会議 (兼務)	東京大学
執行理事	松沼 孝幸	非常勤	2016/4/15	なし	公 1 (1) 学術講演会	(国研) 産業技術総合研究所
執行理事	輪嶋 善彦	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1) 集会行事	(株) 本田技術研究所
執行理事	谷村 聡	非常勤	2017/4/19	なし	公 1 (1) 集会行事	三菱日立パワーシステムズ(株)
執行理事	福山 佳孝	非常勤	2017/4/19	なし	公 1 (1) 技術普及	(国研) 宇宙航空研究開発機構
執行理事	辻田 星歩	非常勤	2017/4/19	なし	公 1 (2) 学会誌編集	法政大学
執行理事	山本 悟	非常勤	2017/4/19	なし	公 1 (2) 論文	東北大学
執行理事	松岡 右典	非常勤	2017/4/19	なし	公 1 (2) 調査研究	川崎重工業(株)
執行理事	山根 秀公	非常勤	2016/4/15	なし	公 1 (2) 広報	防衛装備庁

理事	秋川 宏樹	非常勤	2017/4/19	なし	公1(1)	(株)JALエンジニアリング
理事	川岸 京子	非常勤	2017/4/19	なし	公1(2)	(国研)物質・材料研究機構
理事	高橋 俊彦	非常勤	2017/4/19	なし	公1(2)	(一財)電力中央研究所
理事	松崎 裕之	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2)	東北発電工業(株)
理事	田尻 敬次	非常勤	2016/4/15	なし	公1(2)	(株)荏原エリオット
監事	田沼 唯士	非常勤	2017/4/19	なし	業務監査	帝京大学
監事	佃 嘉章	非常勤	2017/4/19	なし	業務監査	三菱重工業(株)

(2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2018年2月28日現在	昨年度末 2017年2月28日現在	
正会員	1993名	1995名	△2名
賛助会員	113社(146口)	110社(142口)	3社(4口)
学生会員	64名	65名	△1名
終身会員	51名	45名	6名
名誉会員	43名	47名	△4名

\*正会員増減数には、定款第11条及び会員に関する規程第15条による「資格喪失者」1名減を含む。

(3) 職員

2018年2月28日現在

常勤職員 1名、 嘱託職員 1名、アルバイト 2名

2. 役員会等

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2017/3/15	1) 会員入退会/資格喪失の件 2) 財務状況報告の件 3) 2016年度事業報告および附属明細書(案)の件 4) 2016年度計算書類および財産目録(案)の件 5) 2017年度事業計画および予算(改訂案)の件 6) 次期役員・委員長候補者(案) 7) 委員会構成案 8) 2016年度通常総会の件 9) 代表理事・執行理事報告 10) 2016年度監事監査報告 11) 他学協会等からの協賛依頼行事の件 12) 各委員会報告 13) 2017年度理事会日程 14) 2017年度第1回理事会議事録	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 了承 全会一致で承認
2017/4/19	1) 代表理事の選定の件	全会一致で承認

(臨時理事会)	2) 執行理事の選定の件 3) 業務分担の件 4) 2017 年度第 1 回臨時理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認
2017/5/17	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成案 4) 調査研究委員会解散の件 5) 規程類制定および改定の件 6) 内閣府公益認定等委員会への定期提出書類の件 7) 理事会引継書の件 8) 事務局 6 月度賞与の件 9) 代表理事・執行理事報告 10) 2017 年度理事会開催日程等報告 11) 他学協会等からの協賛依頼行事の件 12) 定期講演会協賛依頼先の件 13) 規程類体系表 14) 各委員会報告、事務局報告 15) 2017 年度第 2 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 全会一致で承認
2017/6/19	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 統計データ取扱い方針検討の件 4) 平成 30 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰候補推薦の件 5) 代表理事・執行理事報告 6) 他学協会等からの協賛依頼行事の件 7) 各委員会報告、事務局報告 8) 2017 年度第 3 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 全会一致で承認
2017/7/26	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成案 4) 他学協会等からの協賛依頼行事の件 5) 代表理事・執行理事報告 6) 学会コンプライアンス指針制定に関する調査の件 7) 第 4 6 回ガスタービンセミナー協賛依頼先の件 8) 各委員会報告、事務局報告 9) 2017 年度第 4 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 了承 了承 了承 了承 全会一致で承認
2017/10/4	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成案の件 4) ASME/IGTI との MOA の件 5) 規程類制定・改定の件 6) 事務局嘱託職員契約更新の件 7) 代表理事・執行理事報告 8) 各委員会報告、事務局報告 9) 2017 年度第 5 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2017/12/15	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成案 4) 名誉会員候補者、終身会員候補者選定(案)の件 5) 次年度事業計画(案)の件 6) 次年度予算案の件 7) 事務局職員賞与の件 8) 日本内燃機関連合会会員継続の件 9) 代表理事・執行理事報告 10) 各委員会報告、事務局報告 11) 2017 年度第 6 回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 継続審議 継続審議 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2018/2/9	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成案 4) 2018 年度役員候補者推薦の件 5) 2018 年度事業計画(案)の件 6) 2018 年度予算案の件	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

7) 2018 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 8) 2017 年度日本ガスタービン学会賞審査報告 9) 事務局常勤専任職員給与の件 10) 代表理事・執行理事報告 11) 各委員会報告、事務局報告 12) 2017 年度第 7 回理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
--	--

(2) 総会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2017/4/19	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2016 年度通常総会 第 1 号議案： 計算書類および財産目録の件 第 2 号議案： 理事選任の件 第 3 号議案： 監事選任の件 第 4 号議案： 名誉会員候補者の件 第 5 号議案： 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 福泉 靖史                      他 4 名                      開催 3 回

学会コンプライアンス規程を制定した。

(2) 自己点検委員会

委員長 福泉 靖史                      他 4 名                      開催 3 回

2017 年度において日本ガスタービン学会が主催した事業について、各事業主体の委員会に自己点検チェックリストに基づく自己点検を依頼し、その結果について確認した。

(3) 運営委員会

委員長 今成 邦之                      他 9 名                      開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) アドバイザリー委員会

委員長 佃 嘉章                      他 43 名                      開催 2 回

2016 年度および 2017 年度の活動状況、学会としての新規活動、産官学連携活動、国際活動及び NEDO プロジェクト実施報告の各概要説明を受け、学会活性化に向けた議論を行った。

(5) 企画委員会

委員長 太田 有                      他 8 名                      開催 3 回

規程類の体系表を順次更新して、最新の状況を運営委員会および理事会に報告する体制を構築した。若手会員や学生会員の増強、シニア会員の活躍促進に向けたエキスパート委員会（仮称）の設立について協議した。また、初学者を対象としたセミナーや講習会の設置について検討を行った。学会の Mission Statement および 2022 年の創立 50 周年に向けての Master Plan について検討を行った。

(6) 国際委員会

委員長 渡辺 紀徳                      他 11 名                      開催 4 回

6 月にシャーロットで開催された ASME Turbo Expo 2017 に展示ブースを出展した。IAC (International Advisory Committee) のミーティングを ASME Turbo Expo 2017 会期中に開催した。8 月には韓国および中国から IAC 委員を招待し、アジア地域における協力関係の更なる発展について討論を行った。輪番で 2018 年に

日本で開催する ACGT2018 は盛岡で開催することになり、ACGT2018 実行委員会を組織して準備を進めた。また、IGTC2019 の開催に向けて、準備委員会を実行委員会に改組し、東京での開催に向けて準備を本格化した。

(7) 学術講演会委員会

委員長 松沼 孝幸                      他 12 名                      開催 4 回

第 45 回日本ガスタービン学会定期講演会を愛媛県松山市の松山市総合コミュニティセンターで開催し、見学会（三浦工業(株)、(株)井関松山製造所等）を実施した。また、ガスタービン市民フォーラム 2017 を愛媛大学城北キャンパス南加記念ホールにて開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 輪嶋 善彦                      他 14 名                      開催 6 回

集会行事の企画・実施・資料集発行等を担当した。定例の行事として、学生および若手技術者を対象とした第 29 回教育シンポジウム((国研)宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター) (2 日間)、設備見学および技術懇談会を目的とした見学会 (第 1 回: 東北電力(株)新仙台火力発電所及び女川原子力発電所 (1 日)、第 2 回: J F E スチール(株)東日本製鉄所千葉地区 (半日))、「ガスタービンおよびエネルギー関連技術の最新動向」をテーマとした第 46 回ガスタービンセミナー (首都大学東京 南大沢キャンパス) (2 日間) を開催した。また、昨年度初めて開催して好評であった若手技術者交流会 (ガスタービン専門分野の講義と技術者同士の交流を目的としたイベント) を、関東および関西地区にてそれぞれ 1 回実施した。(第 1 回: (株) I H I 本社 (テーマ: 材料)、第 2 回: 大阪大学中之島センター (テーマ: 燃焼)) (いずれも半日)

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 福山 佳孝                      他 11 名                      開催 3 回

定期講演会と併催するガスタービン市民フォーラムの講師選定、総会后特別講演会の講師選定・依頼、教育シンポジウム講師選定を行い、それぞれの行事の担当委員会に答申した。2017 年度は JAXA 一般公開に併設する市民フォーラムを始めて開催した。教科書「ガスタービン工学」の改訂版は 6 月 15 日に発行し、第 29 回教育シンポジウムから使用を開始した。学会外への情報発信のため、市民フォーラム開催機会増加の検討、自己学習システムの構築など、ソフト面での充実・推進などに関して検討を進めた。また、教科書の改訂に合わせて学会規程類を制定した。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 辻田 星歩                      他 25 名                      開催 6 回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項 (特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等) を担当した。特集として、2017 年 3 月「バイオマス発電」、2017 年 5 月「エミッション低減技術と計測技術」、2017 年 7 月「航空エンジン・発電プラントの技術進歩を支える最新の試験計測技術」、2017 年 9 月「ジェットエンジン・ガスタービンを支える燃料」、2017 年 11 月「ガスタービンを支える最新の材料技術の現状と課題」、2018 年 1 月「わが国におけるガスタービン研究・開発の先駆者 (その 1)」、第 45 回定期講演会 (松山) 報告」を企画・編集し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。また、関連規程類の見直しを行った。

(11) 論文委員会

委員長 山根 敬                      他 12 名                      開催 5 回 (内 E-mail 会議 3 回)

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems (略称 JGPP) の編集・発行を行った。学会誌掲載の和文技術論文を抜き刷りの形式で学会ホームページ上でも掲載を開始し、オープンアクセスを可能とした。また、和文技術論文のカラー使用を標準とするための議論を学会誌編集委員会と調整しながら進め、実施に向けて関連規程類を改定することを合意した。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 松岡 右典                      他 9 名                      開催? 回 (内 E-mail 会議? 回)

2016 年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌 Vol. 45 No. 5 に掲載した。

(13) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 13 名 開催 3 回

ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの具体化方策や、学会の産官学連携促進活動について検討を行った。ガスタービンを考える会で作成している研究開発プロジェクト案を実現させる方策について審議・助言を行った。調査研究委員会と連携して、これまで実施してきた「再生可能エネルギー大量導入時代の系統安定化対応先進ガスタービン発電設備の研究開発」を継続する新たなプロジェクトの提案を検討した。また、盛岡市で東北地域の企業との技術懇談会を実施し、産官学連携の促進を図った。

(14) 広報委員会

委員長 山根 秀公 他 6 名 開催 3 回 (内 E-mail 会議 2 回)

学会からの発信力を強化する取り組みとして、ソーシャルネットワーク・サービスの利用について検討を行い、公式 Facebook ページを立ち上げることにし、学会行事に関する最新情報などの発信手段として運用を開始した。

(15) 表彰委員会

委員長 油谷 好浩 他 5 名 開催 4 回 (内 E-mail 会議 3 回)

学会賞審査委員会を組織して、ガスタービン学会賞（論文賞，奨励賞，技術賞）の選定を実施した。学術講演会委員会と協力して、第 45 回定期講演会で講演発表した学生の交通費の一部助成を実施し、さらに同委員会と協力の下、学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。

(16) 名誉会員候補者選考委員会

委員長 船崎 健一 他 6 名 開催 1 回

規定に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(17) 終身会員候補者選考委員会

委員長 船崎 健一 他 4 名 開催 1 回

規定に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 油谷 好浩 他 4 名 開催 3 回 (内 E-mail 会議 2 回)

2018 年度に就任する理事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(19) 将来ビジョン検討委員会

委員長 寺本 進 他 9 名 開催 1 回 (内 E-mail 会議 1 回)

委員会で取り上げるべき論点について、意見交換を行なった。意見交換の中で上がった論点をまとめ、次期での具体化を目指す。

(20) 女性参画推進委員会

委員長 仲俣 千由紀 他 4 名 開催 5 回

「異業種交流を通じた個性が輝く職場についての意見交換」と題したイベントを 8 月に関東（首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス）で、「開発の現場で活躍する女性との交流会 ～MR J 開発～」と題したイベントを 1 月に中部（三菱重工航空エンジン(株)、MR J ミュージアム）で実施した。

(21) IGTC2019 実行委員会

委員長 西澤 敏雄 他 13 名 開催 1 回

次回国際会議を、2019 年 11 月 17 日から 22 日の日程で虎ノ門ヒルズ（東京都港区）にて開催する決定を受け、本委員会を立ち上げた。第 1 回実行委員会を開催し前回大会の反省点および改善項目を検討するとともに、会場業者との打合せを行った。

(22) ACGT2018 実行委員会

委員長 山根 敬                      他 5 名                      開催 3 回

2018 年 8 月開催の Asian Congress on Gas Turbines (ACGT)2018 の準備を行った。

(23) 調査研究委員会

委員長 壹岐 典彦                      他 14 名                      開催 1 回

産官学連携委員会およびガスタービンを考える会と連携しながら独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) エネルギー・環境新技術先導プログラムへのプロジェクト案「機動性に優れる広負荷帯高効率 GT の開発」を前年度にまとめ、NEDO に応募した結果、2017 年 4 月に採択された。本委員会はこれをもって活動を完了し、2017 年 5 月に解散した。その後、調査研究報告書を理事会に提出した。

(24) 学会賞審査委員会

委員長 筒井 康賢                      他 7 名                      開催 2 回

本年度は、学会賞審査の年度にあたる。自薦および論文委員会から推薦された論文や技術に対して、専門的見地から審査する審査員を選出して、慎重かつ公正な審査を実施した。2018 年 1 月 30 日に開催された第 2 回委員会において、技術賞のヒアリングを含む最終審査会を開催し、論文賞 2 件の候補を選出した。